

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公表番号】特表 2014-521805 (P2014-521805A)

【公表日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報 2014-046

【出願番号】特願 2014-523982 (P2014-523982)

【国際特許分類】

C 08 G 69/32 (2006.01)

【F I】

C 08 G 69/32

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (D A P B I)、P P D、およびテレフタロイルジクロライドを含むポリマーであって、I P C ピークブロック比が 1.52 ~ 1.56 であり、固有粘度が 2 d l / g より大きいポリマー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

【表 1】

	ピーク値	ピーク比
単独重合体 (対照)	18.09 分	入手不可
実施例 1	27.94 分	1.54
比較例	27.09 分	1.50

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (D A P B I)、P P D、およびテレフタロイルジクロライドを含むポリマーであって、I P C ピークブロック比が 1.52 ~ 1.56 であり、固有粘度が 2 d l / g より大きいポリマー。

〔2〕固有粘度が 4 d l / g 以上である、前記〔1〕に記載のポリマー。

〔3〕I P C ピークブロック比が 1.53 ~ 1.55 である、前記〔1〕または〔2〕に記載のポリマー。

〔4〕(i) N - メチル - 2 - ピロリドン (N M P) またはジメチルアセトアミド (D M A C) と (i i) 無機塩とを含む溶媒系に溶解することができ、前記溶媒系から取り出した後、前記溶媒系に再溶解することができる、前記〔1〕に記載のポリマー。

〔5〕固有粘度が 2 d l / g より大きい、前記〔4〕に記載のポリマー。

〔6〕固有粘度が 4 d l / g 以上である、前記〔5〕に記載のポリマー。